

⑫ 公開特許公報(A) 平1-284626

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)11月15日

E 03 C 1/14
A 45 D 19/06
A 47 K 1/00
E 03 C 1/044

6541-2D
7618-3B
6434-2D
6541-2D

審査請求 有 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 洗髪台

⑯ 特 願 昭63-112290

⑰ 出 願 昭63(1988)5月9日

⑱ 発 明 者 廣 田 弥 助 大阪府大阪市平野区加美北4丁目6番32号 株式会社大廣製作所内

⑲ 出 願 人 株式会社大廣製作所 大阪府大阪市平野区加美北4丁目6番32号

⑲ 出 願 人 東陶機器株式会社 福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 鎌田 文二

明 細 書

1. 発明の名称

洗髪台

2. 特許請求の範囲

(1) 昇降自在な昇降台上に、底部に排水口を有する洗髪用ボールを取付け、上記排水口に、可視性を有する排水ホースを接続してなる洗髪台。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、理美容店等に設置する洗髪台に関するものである。

(従来技術とその課題)

従来、理美容店等に設置される洗髪台の洗髪用ボールは、壁面に固定されているため、その高さを変えることができない。

ところが、理美容師などの洗髪作業者の身長は人によって異なる。このため、洗髪用ボールが洗髪作業者の身長に合っていない場合、例えば、洗髪作業者の身長に比し、洗髪用ボールの高さが低い場合には、洗髪作業者が相当前かがみになって

洗髪作業を行なわなければならない、洗髪作業に支障をきたすと共に、洗髪作業者の腰などにも過度の負担をかけ、腰痛などの障害をひき起すという問題がある。

そこで、この発明は、高さ調節可能な洗髪台を提供して上記のような問題点を解決しようとするものである。

(課題を解決するための手段)

この発明は、昇降自在な昇降台上に、底部に排水口を有する洗髪用ボールを取付け、上記排水口に、可視性を有する排水ホースを接続することにより洗髪台を構成したのである。

(作用)

上記洗髪台は、昇降台の昇降に伴って洗髪用ボールが昇降するので、洗髪作業者の身長に合わせて洗髪用ボールの高さを調節することができる。

(実施例)

以下、この発明の実施例を添付図面に基いて説明する。

洗髪用ボール1は、昇降自在な昇降台2上に設

置されている。

上記洗髪用ボール1の底部には、排水口3が形成されている。また、洗髪用ボール1の上面開口の後方部分には、水平台部4が形成され、この水平台部4にはシャワーヘッド5、シャワーヘッド5に給水を行なう開閉ハンドル6、シャワーヘッド5に給水され、水温の調整を行なう温調ハンドル7がそれぞれ取付けられている。

昇降台2は、床面に固定されるベース板8と、このベース板8上に取付けられる昇降機9と、この昇降機9の上部に取付けられるボール取付板10とからなる。

昇降台2の昇降機9としては、油圧シリンダ、電動ネジ式昇降機、あるいは油圧ロック付ガススプリング等を使用することができる。

第1図乃至第3図に示す実施例は、昇降機9として油圧シリンダを使用しており、油圧シリンダのシリンダ11は取付台12を介してベース板8上に固定され、油圧シリンダのピストンロッド13はボール取付板10の下面に固定されている。

また、上記ボール取付板10の下面には、上記ピストンロッド13に沿ってラムガイド14が取付けられ、このラムガイド14は上記シリンダ11の上部に取付けたガイドブラケット15に挿通されている。上記油圧シリンダの昇降スイッチ16は、洗髪用ボール1の上面の水平台部4上に設けられ、この昇降スイッチ16によって油圧シリンダのピストンロッド13が伸縮するようになっている。

一方、第4図に示す実施例は、昇降機9として油圧ロック付ガススプリングを使用している。この油圧ロック付ガススプリングは、油とガスを封入したシリンダ17の内部に、ピストンロッド18と一体に軸方向に摺動するピストンを設け、このピストンに油の流れを制御するバルブを設け、このバルブを操作するピン19を、ピストンロッド18を貫通するように設けた構造になっており、ピン19を押してピストンのバルブを開くと、ピストンロッド18のロックが解除されて、ピストンロッド18の突出量を変化させることができ、

- 3 -

ピン19を戻すと、シリンダ17内のガス反力によりピストンのバルブが閉じ、ピストンロッド18がロックされるようになっている。この実施例では、ピストンロッド18を下方に向けて、シリンダ17をボール取付板10下面に取付け、ピストンロッド18の先端をベース板8の上面に立設した取付筒20内に固定している。ベース板8上には、上記ピストンロッド18から突出するピン19を押すための、フットペダル21が取付けられている。また、ボール取付板10の下面には、シリンダ17に沿ってラムガイド22が取付けられ、このラムガイド22は上記取付筒20の上部に取付けたガイドブラケット23に挿通されている。

上記洗髪用ボール1の排水口3には、排水トラップを介して可撓性を有する排水ホース24が接続されている。また、洗髪用ボール1の開閉ハンドル6には、給水、給湯ホース25、26が接続されるが、この給水、給湯ホース25、26も可撓性を有するホースが使用されている。

- 4 -

上記ベース板8とボール取付板10との間には、昇降機9や排水ホース24等を隠蔽するための筒状のカバー27が設置されている。このカバー27は、ベース板8に固定される下カバー28と、ボール取付板10に固定される上カバー29とからなり、上カバー29が下カバー28の外周に被せられている。

(発明の効果)

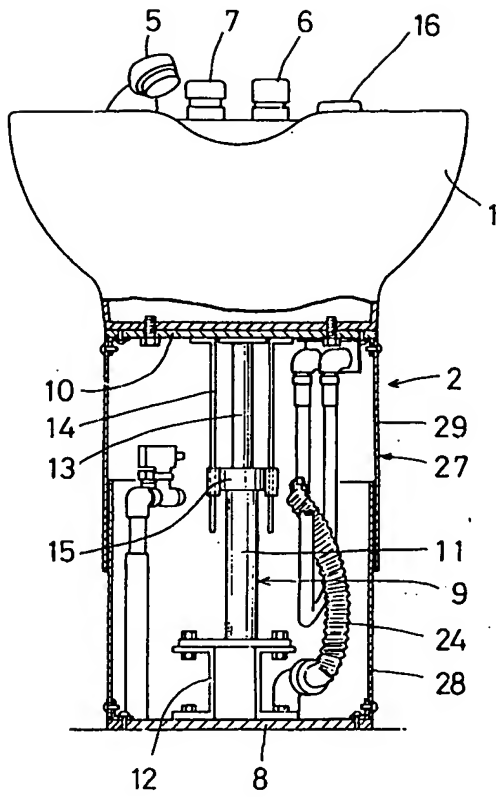
この発明によれば、以上のように、昇降台の昇降によって洗髪用ボールの高さを洗髪作業者の身長に合わせて調節することができるので、洗髪作業者の負担を軽減できるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

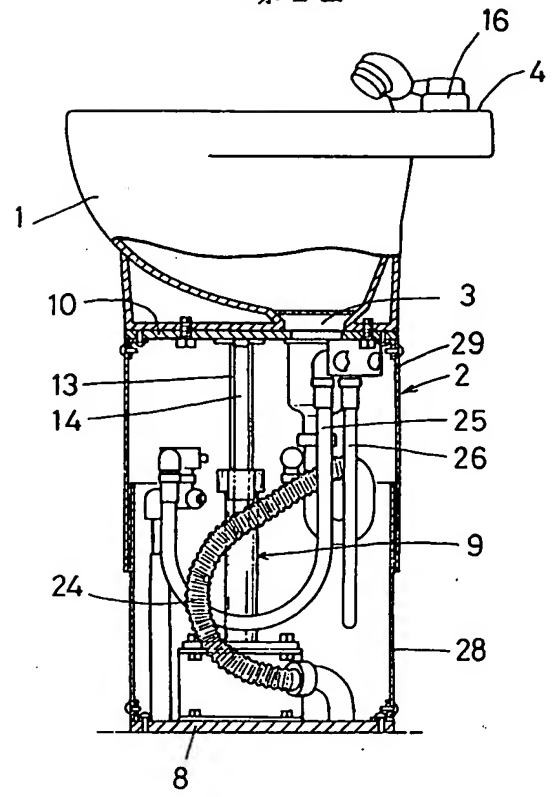
第1図はこの発明に係る洗髪台の一実施例を示す一部縦断正面図、第2図は同上の側面図、第3図は同上の斜視図、第4図は他の実施例を示す一部縦断正面図である。

1……洗髪用ボール、 2……昇降台、
3……排水口、 24……排水ホース。

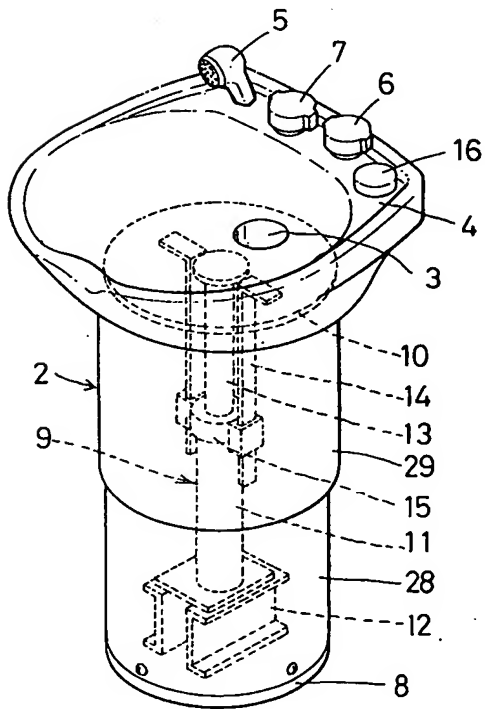
第1図



第2図



第3図



第4図

